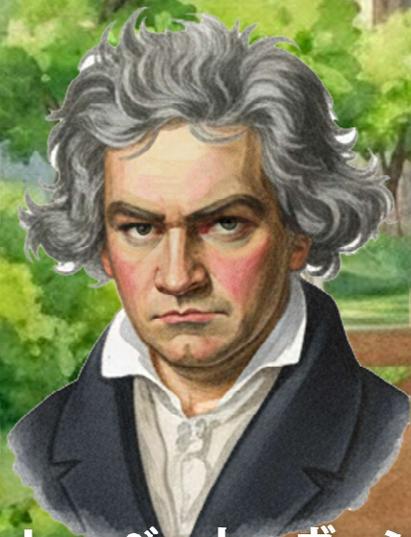


# The Orchestra on Period, Tokyo

オーケストラ・オン・ピリオド・トウキョウ  
(ピリオド楽器によるオーケストラ)

## 第26回 演奏会



L. v. ベートーヴェン  
交響曲 第2番 二長調 Op. 36



W. A. モーツァルト  
交響曲 第20番 二長調 K. 133



J. M. クラウス  
劇音楽「オリンピエ VB 33」  
より 序曲 二短調

2026年 4月25日 (土)  
14:00 開演 (13:30 開場)

彩の国さいたま芸術劇場  
音楽ホール

JR埼京線与野本町駅 (西口) 下車 徒歩7分

指揮 山根 風仁

コンサートマスター 及川 悠介

入場無料  
入場チケットはございません

後援：埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会

# The Orchestra on Period, Tokyo

オーケストラ・オン・ピリオド・トウキョウ

オーケストラ・オン・ピリオド・トウキョウ(OPT)は、2003年に発足。作曲当時の楽器と演奏様式によりバロックから古典派の名曲を斬新な解釈で演奏してきました。



OPTのホームページ



## 指揮 山根 風仁

高知県出身。作曲当時の演奏様式を美的視点から研究し、その視座を演奏に生かす音楽家。チェロ奏者として、バッハ・コレギウム・ジャパン、オーケストラ・リベラ・クラシカなど、日本を代表する歴史的楽器アンサンブルで活動。海外ではテレジア管弦楽団の首席奏者として欧州各地の音楽祭に出演。フォルテピアノとの2重奏のデュオ・ヤマネとしても国内外で演奏し、2025年にはファン・ヴァッセナール国際コンクールで第1位を受賞した。第32回青山音楽賞〈新人賞〉受賞。

現在は19世紀から20世紀初頭にかけての演奏習慣の研究に注力し、新しいコンサートシーンを開拓している。近年は指揮者としての活動にも取り組み、2025年には藝大プロジェクト《アルルの女》を指揮。大学在学中にバッハカンタータクラブの演奏委員長を務め、在学中にRené Gulikers氏に指揮を学んだ。

東京藝術大学を安宅賞・アカンサス音楽賞を受賞して卒業。英国王立スコットランド音楽院を修了後、文化庁新進芸術家海外研修制度により、ブリュッセル王立音楽院ポストグラデュエート課程を修了。



©東京藝術大学演奏芸術センター (撮影:横田寛史)

## コンサートマスター 及川 悠介

東京都出身、6歳よりヴァイオリンを始める。第7回国際ジュニア音楽コンクール第1位、第8回横浜国際音楽コンクール第1位。2023年シーズン、フランス国立フィルハーモニー管弦楽団アカデミー生。ヴァイオリンカルテット「TAKEYUMI」の一員としても活躍。

2018年より毎年ソロリサイタルを開催。「松井クラシックのつどい」主催演奏会ではラザリーのヴァイオリンソナタを日本初演するなど、知られざる名曲の発掘と紹介をライフワークとしている。文化庁/日本演奏連盟主催 新進演奏家育成プロジェクトに合格し、東京文化会館でリサイタルを開催。また、ソリストとして小オーケストラと共演。現在はヴァイオリン講師や室内楽奏者として活躍。オーケストラ奏者としても東京交響楽団や名古屋フィルハーモニー交響楽団などへ客演し「題名のない音楽会」の収録にも参加。バロックピッチでの演奏や、ヒストリカル奏法の弦楽四重奏団「カルテット・ヴィア・アンティカ」のメンバーとしての演奏、編曲・作曲まで幅広く活動している。

東京藝術大学附属高校卒業後、同大学を経てパリ国立高等音楽院第一課程に満場一致で入学。第二課程を審査員満場一致の賞賛付き最高位で卒業。これまでに石澤清子、漆原朝子、野口千代光、木野雅之、ロラン・ドガレイユの各氏に師事。2024年に完全帰国。日本演奏連盟会員。



## 彩の国さいたま芸術劇場

さいたま市中央区上峰3-15-1

JR埼京線与野本町駅(西口)下車 徒歩7分

- ・池袋から快速で約25分、各駅停車で約29分
- ・新宿から快速で約30分、各駅停車で約34分
- ・大宮から快速・各駅停車で約6分

